

ないえ会 会報 No.23

2018年9月25日

- 利用者さんを看取るとのこと：丸田 幸
- 「ないえ会」のこれまでとこれから：事務局



相性抜群♥ほうれん草とベーコンのパスタ(木菟で販売中)

利用者さんを看取るとのこと

障がい者支援施設ないえ 生活支援員 丸田 幸

7月1日に滝川市ホテルスエヒロ研修会場にて、「施設での看取りを経験して」というテーマの研修に参加してきました。講師は北海道光生会美唄光生園の医務リーダーである森泰子氏でした。美唄という近郊の施設の方が講師ということで、始まる前から親近感のようなものを感じていたのですが、研修が始まってからは、ないえ福祉会との差にただただ驚くばかりでした。



「施設での看取りを経験して」研修会

まず、驚いたのは美唄光生園では訪問診療を取り入れているという点でした。一般的には、寝たきりの方や通院の困難な方、ターミナルケアなどで利用されている訪問診療ですが、美唄光生園では現状では健康状態に問題は無いものの、高齢化や認知症などにより医師からの助言で手厚い医療が必要と判断された方から、訪問診療に少しずつ移行しているそうです。訪問診療のメリットとして、連日施設に来て頂けるので、通院の移動や待ち時間などによって生まれる身体的疲労感がないことや、初期の段階での治療を受けられること、訪問診療と同時に訪問看護も利用出来るので、点滴・褥瘡の処置・導尿など専門的な治療が受けられるなど様々な点をあげられました。

次に、美唄光生園では一人ひとりの利用者さんの最期を考え、利用者さんのために“今”何が出来るかということ職員が一丸となって考えているという点にも刺激を受けました。美唄光生園の利用者さんは76%が60歳以上の方であるため、利用者さんの死は身近なところであり、実際に施設や病院で亡くなられた方もいらっしゃるということでした。利用者さんを施設で看取る可能性が出てきた時には、看取りの条件を設け、①本人の意思確認(言葉での確認が難しい場合は本人の状態や様子か

らアセスメント)、②周囲の利用者への影響、③代理人の承諾、④訪問医療などの医療のバックアップ、⑤スタッフの意識の5つの条件のうちひとつでも欠けることがあれば施設での看取りは難しいと考えて無理せず医療機関等に相談しているそうです。また、利用者さんの最期を迎えるときに、絶対に一人で天国に行かせないようにと、病院に入院している利用者さんに対しては、職員がどうしても病室に行けない時間帯は、家政婦さんに依頼して病室に行ってもらっているようです。

しかし、訪問診療や施設での看取りに対して消極的な支援員もまだまだいて、その理由として、普段は生きるために支援をしているのに利用者が衰弱していく姿を見ていかなければならないことに対する精神的負担や、[訪問診療]=[施設での見取り]という意識が根強いこと、自分の勤務中に利用者が亡くなるかもしれないという不安や恐怖などがあげられ、今後の課題は職員の精神的負担の軽減を図ることだと話していました。

研修の最後には、「看取りが素晴らしいのではなく、一人ひとりの利用者のために今何が出来るのかを考え、その先に看取りがあったときに自然に看取りができれば素晴らしいと考えている。」という言葉で締めくくられました。正直、今回の研修を受けるまで利用者さんを看取るということを日々の支援の中で考えた事はありませんでしたが、看取りは実は身近なもので、今後はそこも含めて考えていくことも必要だということを実感しました。また、一人ひとりの利用者さんのために今できることをするという言葉は、私たちの普段の支援にも共通するところで、改めてこの気持ちや意識を大切にしていこうと思いました。

これから、ないえ福祉会も少しずつ利用者さんの高齢化が進んでいくことが予想されます。美唄光生園の看取りの条件からすると、ないえ福祉会で看取りを行うにはまだまだ課題が山積みなのが現状です。今後、利用者さんの看取りがもっとも身近になった時に初めて看取りについて真剣に考えるのではなく、環境やサポート体制を少しずつ整えていくために、他施設の人と交流があった際には、この件について、どのような方向性で進めているのか、情報交換を行っていきたいと思います。それが、私が一人ひとりの利用者さんの最期の時のために、今できることだと思います。

ないえ会のこれまでとこれから

今年は「奈井江学園」ができてから40年になります。これを機会に、これまでとこれからへの思いを話し、これからのことを考えてみました。

奈井江学園・ないえ福祉会を選んだ理由は何ですか？

- 中学3年の時、「奈井江学園」の看板を見て、見学しようと思った。障がいの軽い人が多く、利用者の挨拶も元気だった。当時は、建物に鍵をかける施設もある中で、利用者がのびのびと建物を出入りしている雰囲気が決めてかな。園長（当時）先生とお話して、通所第1号として、通所することになった。通所を始めると娘も、のびのびした感じになり、心地よい場所とまっているように感じて、ここに決めて良かったと思った記憶がある。その後、四半世紀以上お世話になっている。
- 利用者の人数が少なく、こじんまりとしているところが良かった。子供は重度の障がい、受入れてくれるところが無かったが、「奈井江学園」の職員の対応がとても良かった。それから毎日我家から通うことになった。
- 見学に来た時、利用者で騒々しかったのが、何か嬉しかった。この雰囲気、事務室に利用者がふらっと出入りしているところが決めたところかな。
- 雨竜の高等養護学校に進み、そこで、地元である「ないえ福祉会」を進められた。ここには、ボランティアで何回か来たことがあり、利用者の人数が少ないこじんまりした施設と想っていた。何より地元だし、本人もここが良いというのが決め手。
- 高校が寮生活だったので、本人が家から通えて、家族と離れないでいれる地元が良いなあと言ったこと。わいわい祭りなどの交流でここ「ないえ福祉会」を見ていたので、あまり他のところは考えないで、ここに来た。子供は友達ができずらかったが、ここに来て友達もできた。今は、一般就職を目指し、木菟で頑張っている。【ホームマック、アシル、コープさっぽろ、くるくる等で就労している人や一人暮らしをしている人もいるので、頑張りたいですね。（事務局）】

選んだ理由は、こじんまりしていて、のびのびした雰囲気、ひかれたということだろうか。これからも、この「こじんまりとした」雰囲気は続いて行って欲しい。

建物についての思い出はありますか？

- 四半世紀前に来たときは、青年開発隊の建物で、今の椎茸ハウスの辺りに建っていた。窓はガタガタで、一部屋に何人も生活していた。それを見て、チョット寂しい気持ちになったことを覚えている。でも、直ぐに新しい建物（今の建物）ができてホッとした。
- 今の駐車場のところに「ポプラ館」があり、喫茶店を営業していた。利用者2名がカウンターにいて、コーヒー淹れていた。とても美味しかった。

昔と今で家族会の行事は変わりましたか？

- 新年会、1泊旅行、参観日等、昔は行事が沢山あった。海水浴には親も一緒に行った。
- 利用者の旅行に親が付いて行ったこともある。親が付いて行けなくなったのは、親の面倒を職員がみなくてはならなくなったからかしら？
- お祭りの出し物（料理）は、前日から父兄も加わって準備した。大きな焼き鳥（串焼きかな）、カキ、エビ、ホタテ等々豪華な焼き物があった。
- 昔（措置費制度のころ）、年度末には「お寿司の日」もあって、美味しいお寿司を鱈腹食べていた。
- 夏休みが2週間もあって、帰省できない人と蕎麦を打って、それを食べる会もあった。先ほど、「また蕎麦を打とうよ！」と言われて、まだ、覚えていてくれるのが、ものすごくうれしかった。
- 昔には良いところもいっぱいあったが、措置から契約、そして、自立へと時代が変わったことだと思う。また、親自身も歳を取って、動きが悪くなったこともある。
- 利用者のクラブ活動も、昔は盛んだった。お茶クラブ、書道、釣り、ソフトボール等があり、私の子は、その時覚えたお点前で、お茶をたててくれている。【今は、パークゴルフ、フットサル、カラオケ等かな。（事務局）】

親が死んだ後のことを考えますか？

- もちろん考えている。弟には「面倒をみてよ」とは言っているが、毎日の生活は「ないえ福祉会」で見てほしい。
- 親亡き後の生活を「ないえ福祉会」に見て欲しいと思っているし、終末のケアも今の職員にお願いしたい。歳をとり、老化し、認知症が始まった時に、まったく知らない所へ子供が行くと思うと、親として辛いものがある。生い立ち、生活史を知っている職員が側にいて欲しいと切に思っている。
- 病気になったときもここで支援して欲しいと思う。
- 自宅の暮らしより、「ないえ」の暮らしが長くなった。子供も兄弟のいる〇〇より、ここに住みたいと言っている。子供ことをよく理解してくれている「ないえ福祉会」に最期までケアをお願いしたいが可能だろうか。

これから家族会が取り組むことについては？

- 福祉制度の変更などの情報が欲しい。文字情報として文書、メモで知らせてほしい。広報活動の家族会の大切な役割一つと思う。
- 親亡き後の子供への支援について、どんな形を望むか、どんな形があるか。「ないえ福祉会」に家族会が要望すべきだと思う。そのためにアンケート調査をすることも考えてみてはどうだろうか。

編集後記

ないえ福祉会ホームページ (http://www.naiefukushikai.or.jp/010114NaieKaiho_7.pdf) に会報7号(2001/1/14)から会報が掲載されていますので、ご覧ください。また、ないえ会への会員の皆様からのご意見などお待ちしております。